

大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：岡戸委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第1回防災部会				
(2) 開催日時	平成29年5月24日（水）14：00～16：00				
(3) 開催場所	消費生活センター 第5会議室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員（部会長：志村 陽子） <敬称略>				
	田邊 俊子	竹内 奈津子	竹内 千代江	岡戸 繁樹	栗田 修平
	蛭子 明子	在原 寛子	富丘 浩之	篠崎 哲也	
	オブザーバー：丸山 裕士（蒲田警察署）、入舩 寛樹（大森消防署）、 中村 幸二（田園調布消防署）、寺田 秀明（蒲田消防署）、 荒井 俊一（蒲田消防署）、深作 友明（矢口消防署）、 内藤 禎一（大田区立大森東福祉園施設長）				
	区職員：長沼 宏之（健康政策部災害時医療担当課長）、 阿部 幸喜（防災危機管理課）、 鎌田 裕一（上池台障害者福祉会館長）、 澤 健司（障害福祉サービス推進担当課長）、 吉田 実（障害福祉課）、 石田 賢二（障がい者総合サポートセンター）				
	事務局：酒井 敏彦（障害福祉課長）、 平野 理恵子・小野寺 修・関根あずさ（障害福祉課）				

- 1 出欠者・配付資料の確認
- 2 部会長選任の確認 → 部会長：志村委員（本会にて決定）
- 3 自己紹介
- 4 司会・書記の確認 → 司会：志村部会長 書記：交替制
- 5 連絡事項
 - (1) 第1回本会（4/28）の開催について
 - 議事録は大田区のホームページに掲載されている。
 - 委員の参加：19名 傍聴：7名
 - おおた障がい施策推進プランは今年度で終了となる。次期計画は、有識者や公募区民で構成される「大田区障がい者施策推進会議」で検討していく。
 - (2) 平成29年度の大田区自立支援協議会の構成について
 - 本会は年3回開催する。会長・副会長・部会長で構成される運営会議は、本会や専門部会の進め方や協議会の在り方について検討する。
 - 編集会議は、年2回程度開催し、大田区自立支援協議会だよりを作成・発信する。
 - 各部会では地域のことについて話し合っていく。
 - (3) 平成29年度の区事務局担当者及び連絡先一覧について
- 6 議題
 - (1) 作業部会委員選出
 - 次の8名の委員とする。志村陽子委員、田邊俊子委員、竹内奈津子委員、竹内千代江委員、栗田修平委員、蛭子明子委員、広瀬健太郎委員、篠崎哲也委員
 - (2) 編集委員選出
 - 栗田修平委員とする。
 - (3) 昨年度の振り返り
 - ヘルプマークの普及・啓発
ヘルプマークを入れたクリアファイルを配布。日常生活で使用することで普及につなげる。
 - 大田区総合防災訓練への参加・協力、地域・関係機関との連携の検討
大森東地区と六郷地区で実施した。ブースを設置しヘルプカードとヘルプマークを周知した。
 - 福祉避難所開設訓練
前半の1時間は福祉避難所の開設訓練及び災害時の備蓄物品の展示、スライドショーの上映等を実施した。
後半の1時間は地震のあと火災が起きたことを想定した福祉避難所からの避難訓練を実施した。警報装置のランプ点灯、滑り台で避難、さぼーとぴあの利用者の避難など。
 - (4) 今年度の進め方・検討課題について
 - 聴覚の場合、個人のマニュアルがあるが組織としての体制はないので、肢体などの団体と連携して作りたい。

- 一時避難所、広域避難所、学校避難所について、一から教えてほしい。避難所の訓練を広げていきたい。
- 長期間避難所に滞在した場合を想定した訓練を考えていきたい。
- 初めて福祉避難所訓練を自校で行うが、手話通訳の部分など、障害種に特化して具体的に考えていく必要がある。自閉症児への支援や、トイレは普段と違うパターンとなり、大きなビニールに入れてまとめ捨てる。
- 障害がない人が学校に来たときの対応も大切になる。地域との連携が大切となる。どのような支援が行えるか地域性を含め考えていきたい。
- ヘルプマークの改良や周知の仕方など
- 5つの部会の研修会について
 - <事務局より>
 - 地域の課題に踏み込み、広く知っていただくようにしたい。
 - 部会回数はやりたいことに合わせて決める。
 - いくつかの課題について、月別に検討していただいてもよい。
 - 研修については内容を相談していただく。例えば、昨年度防災部会のみ委員であった防災福祉コミュニティ協会の石塚様、警察や消防と連携した学習会の実施など。
 - ヘルプカードの見直しとさぼーとびあの福祉避難所開設訓練は引き続き行う。

(5) 年間スケジュールについて

- 作業部会でスケジュール案を決め、次回の部会で示す。

(6) 平成 29 年度障がい者福祉のあらましにおける「たすけてねカード」の記載について

- 7月に大田区が配布する冊子「平成 29 年度障がい者福祉のあらまし」の中に、切り取って使用できるヘルプカードの紙を入れ込む。(B5 サイズで赤と黒印刷)
- ヘルプカードを入れる赤いケースは、障害福祉課・各地域庁舎の地域福祉課及び地域健康課・障がい者総合サポートセンターの窓口にくくともらえる。
- 避難行動要支援者名簿の記載とヘルプカードの記載を結びつける記載があるとよい。

(7) 「大田区避難行動要支援者名簿」について

- 今年度から名簿の名称を法規と合わせ「避難行動要支援者名簿」とした。地域全体で支え合うために、登録内容はすべての地域の関係者（消防・警察・民生委員児童委員・自治会町会）に情報を提供する。

7 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 「情報発信!共有!シート」の記入について

- 各団体で防災に関する取り組みについて部会内で情報共有するため活用する。

(2) その他情報提供

- 大田区の総合防災訓練を 10 月 8 日、10 月 15 日、10 月 22 日に実施予定。9 月 1 日は「命を守る 3 動作」(シェイクアウト訓練)を実施予定。
- シンポジウム「罪に問われた障がい者」の支援について、7 月 1 日に行われる。
- <区職員 長沼災害時医療担当課長より>災害時に助かる命を救う、健康を守る。その

ために、平成 27 年度から負傷者をいち早く医療につなげるための訓練を病院と連携して行っている。拠点まで来れない方をどうするかが課題である。

※次回の日程

作業部会は平成 29 年 6 月 14 日（水）午後 1 時 30 分から、さぼーとびあで行う。

第 2 回防災部会の日程は未定。